

目次

1. 次期スーパーコンピュータ及びアプリケーションサーバのシステム構成について	1
2. スーパーコンピュータ及びアプリケーションサーバの更新に伴うサービス停止期間について	2
3. 年度末・年度始めの大型計算機利用申請受付期間について	3
4. 平成20年度の全国共同利用システム利用申請・追加負担金申込みの締切日について	3
5. 平成21年度への継続、新規・追加について	3
6. 追加負担金次年度持ち越しサービスの利用について	3
7. 年未年始の計算サービスについて(再掲)	4
8. IT相談コーナーの休止について(再掲)	4
9. アプリケーションサーバの更新に伴うサービスの終了について(再掲)	4

1. 次期スーパーコンピュータ及びアプリケーションサーバのシステム構成について

次期スーパーコンピュータ及びアプリケーションサーバは、12月16日に開札が行われ、演算サーバとファイルシステムは、次のような構成になりました。

S1システムは、現有のスーパーコンピュータの後継システムです。S2システムとアプリケーションサーバは一体的に運用され、研究室と同様なLinux環境で利用できます。S3システムは次世代スーパーコンピュータと連携をとるためのシステムで、大規模な分散並列環境が利用できます。

システムの導入は、本学が推進する「チーム・マイナス6%」活動に貢献するため、導入時期は2段階とし、S2システムとS3システムの512ノードは、平成21年10月1日運用開始となりました。

(1)大規模SMP型演算サーバ(S1システム)

- ・システム：Fujitsu SPARC Enterprise M9000 3ノード
総演算性能:3.84TFlops, 総メモリ容量:3TB
- ・ノード：SPARC64 クアッドコア×32(コア数:128)
演算性能:1.28TFlops, メモリ容量:1TB
- ・OS：Solaris10

(2)大規模分散並列型Linux演算サーバ(S2システム)

- ・システム：Fujitsu HX600 96ノード

総演算性能:15.36TFlops, 総メモリ容量:6TB

・ノード : Opteron クアッドコア × 4(コア数:16)

演算性能:160GFlops, メモリ容量:64GB

・OS : Red Hat Enterprise Linux 4

(3)大規模分散並列型 Unix 演算サーバ(S3 システム)

・システム: Fujitsu FX1 768 ノード

総演算性能:30.72TFlops, 総メモリ容量:24TB

・ノード : SPARC64 クアッドコア(コア数:4)

演算性能:40GFlops, メモリ容量:32GB

・OS : Open Solaris

(4) 大規模分散並列型 Linux 演算サーバ(アプリケーションサーバシステム)

・システム: Fujitsu HX600 64 ノード

総演算性能:10.24TFlops, 総メモリ容量:4TB

・ノード : Opteron クアッドコア × 4(コア数:16)

演算性能:160GFlops, メモリ容量:64GB

・OS : Red Hat Enterprise Linux 4

(5)ストレージシステム

・システム : ETERNUS2000 モデル 200

・総物理容量:1.15PB

次期システムに関する情報は、随時、本センターのホームページでお知らせします。

2. スーパーコンピュータ及びアプリケーションサーバの更新に伴うサービス停止期間について

スーパーコンピュータ及びアプリケーションサーバの更新に伴い、計算機室・電源設備・空調設備の改修工事などの一連の工事を行ってから、新システムを導入する運びとなりました。このことから、新システムの稼働までに要する期間が長くなり、運用開始日は平成 21年5月18日(月)になります。研究に支障のないよう早めの利用計画を立てるなどご協力をお願いします。

下記に、サーバごとの計算サービス停止期間を示します利用者ファイルについては、新システムにそのまま移行されます。なお、ファイル移行の時間を短縮するため、ファイルの整理をお願いします。

システム名	運用停止期間
スーパーコンピュータ アプリケーションサーバ 画像処理サーバ	平成 21 年 2 月 28 日(土) ~ 5 月 17 日(日) 2 月 27 日処理できないジョブは、キャンセルされま す。
メールサーバ	通常サービス

3. 年度末・年度始めの大型計算機利用申請受付期間

年度末・年度初めの全国共同利用システムの利用申請受付期限について、下記のとおりとなりますので知らせします。

申請種類	名古屋大学情報連携基盤センターの受付期間
平成20年度新規・追加	～ H.21.2.16(月)
平成20年度変更・取消	～ H.21.3.23(月)
平成21年度への継続	H.21.1.26(月) ～ H.21.3.23(月)
平成21年度新規・追加	H.21.1.26(月) ～

4. 平成20年度の全国共同利用システム利用申請・追加負担金申込みの締切日について

締切日 平成21年2月16日(月)

本年度につきましては、現在稼働中のスーパーコンピュータ、アプリケーションサーバの稼働が平成21年2月27日(金)までとなっています。新システムへの移行等手続きのため、平成21年2月28日(土)～平成21年5月17日(日)までの間は利用ができなくなります。本年度利用月が1ヶ月短くなり利用者の方々には大変ご迷惑をおかけいたしますがご理解の程よろしくお願いたします。

なお、メールサーバについては、平常通り年度末まで稼働します。

5. 1) 平成21年度への継続について

平成20年度の各利用者(科学研究費、受託(産学連携等)研究費、科学技術振興費による利用のもの除く)の支払責任者あてに、平成21年1月中旬にあらかじめ今年度の情報が出力してある継続利用申請書を送付しますので、各項目を確認(変更があれば朱書きで修正)のうえ、受付期間に申請を行ってください。

2) 平成21年度新規・追加について

平成21年1月26日(月)から受付を開始します。また、申請後に、変更・取消等が生じた場合は、随時受け付けます。

6. 追加負担金次年度持ち越しサービスの利用について

1月8日(木)～2月16日(月)に申請され登録された追加負担金については、3月末時点の利用可能額に残高がある場合には、次年度へ持ち越して(積み増し)利用ができます。ただし、このサービスを利用するためには、次年度の積み増し先を特定するために、次年度の追加負担金申込みが行われている必要があります。この場合、積み増し先の追加負担金の支払責任者・支払科目は、積み増し元のものと同じになります。

追加負担金持ち越しサービス利用の対象
平成20年度用として
平成21年1月8日(木)～平成21年2月16日(月)登録分
追加負担金持ち越しサービス利用申込期間
平成21年2月2日(月)～平成21年3月23日(月)

7. 年末年始の計算サービスについて

- ・スーパーコンピュータ(hpc)
平常どおり運用します。
1月5日(月)7:00～15:00 定期保守を行います。
- ・メールサーバ(nucc)
平常どおり運用します。
- ・端末室内の機器
端末室内の機器の利用は、12月26日(金)から1月5日(月)まで休止します。

8. IT相談コーナーの休止について

12月24日(水)～1月9日(金)まで、IT相談コーナーは休みますのでご了承ください。
なお、緊急相談はホームページのIT相談室を活用ください。

9. アプリケーションサーバの更新に伴うサービスの終了について

アプリケーションサーバの更新に伴い、2009年2月末をもって次のサービスを終了します。

1) 終了するサービス

- 媒体変換サービス
磁気テープ媒体(オープンリール型MT, カートリッジ型MT, DAT, DLT, LTO, 8mm, 1/4インチCMT)が利用できなくなります。各自でのファイル移行をお願いします。
- データのアーカイブサービス
各自でのファイル移行をお願いします。
- 交換回線サービス
一般の電話回線から利用することができる無料プロバイダなどを調査し、お知らせします。
- 画像処理端末 beta1, beta2 で行っている画像入出力サービス

2) 終了するソフトウェア

- ATLAS
- CADfix
- I-DEAS
- MOPAC
- SASのGeneticsパッケージ
- VisLink -